

|      |                |          |               |
|------|----------------|----------|---------------|
| 施設名称 | まつがや在宅介護支援センター | 指定管理者の名称 | 社会福祉法人 東京援護協会 |
|------|----------------|----------|---------------|

1. 指定管理者の概要

|            |   |
|------------|---|
| ①業務内容      | 高齢者部門＝特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、在宅介護支援センター(2)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)<br>障害者部門＝知的障害者更生施設(2)、知的障害者授産施設(4)、身体障害者授産施設(3)、地域活動支援センター(1)、福祉センター(1)<br>その他部門＝措置施設(3) |
| ②類似施設の管理実績 | くらまえ在宅介護支援センター  |
| ③経営状況      | (20年度決算ベース)<br>[社会福祉事業会計]歳入 4,342,529,007 円、歳出 4,373,629,579 円、収支差額▲31,100,572 円<br>[公営事業特別会計]歳入 20,769,635 円、歳出 19,811,860 円、収支差額 957,775 円  |

2. 施設の概要

|         |  |
|---------|--|
| ①所在地    | 台東区松が谷 4-4-3   |
| ②設置目的   | 在宅で介護を要する高齢者及びその家族に対し、在宅介護に関する相談、情報の提供及び各種保健福祉サービスを提供する機関との連絡調整等を総合的に行う。 |
| ③利用者    | 要援護高齢者もしくは要援護となるおそれのある高齢者、又はその家族等  |
| ④開館日・時間 | 月曜日から土曜日(年末年始、祝日を除く) 9時～17時  |
| ⑤規模     | 延べ床面積 4,671㎡のうち74㎡ ケアハウス松が谷内<br>鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち1階の一部   |
| ⑥人員体制   | 2名(ケアマネジャー)  |

3. 事業(サービス提供)の概要

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| ①委託事業 | 福祉用具の展示・相談、住宅改修に関する相談・理由書作成 等 |
| ②自主事業 | 居宅介護支援事業                      |

4. 施設の稼働状況等

20年度施設実績(年間)

|    | 住宅改修理由書作成 | 福祉用具相談 | 苦情 | 相談件数  | 認定調査実施 | ケアプラン契約(新規) | ケアプラン作成(延べ) | 介護予防プラン受託 | 介護予防プラン作成(延べ) | サービス担当者会議 |
|----|-----------|--------|----|-------|--------|-------------|-------------|-----------|---------------|-----------|
| 件数 | 21        | 14     | 3  | 1,703 | 156    | 25          | 655         | 7         | 217           | 167       |

5. 予算決算の推移

(単位:円)

|    |       | 17年度       | 18年度       | 19年度       | 20年度       | 21年度       |
|----|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 予算 | 委託料   | 515,000    | 157,000    | 1,357,000  | 1,357,000  | 1,200,000  |
|    | 料金収入等 | 27,842,000 | 12,987,000 | 11,273,000 | 11,144,000 | 11,641,000 |
|    | 管理経費  | 28,357,000 | 13,144,000 | 12,630,000 | 12,501,000 | 12,841,000 |
| 決算 | 委託料   | 9,414,327  | 0          | 1,357,000  | 1,357,000  |            |
|    | 料金収入等 | 31,426,518 | 19,234,792 | 9,606,573  | 13,885,443 |            |
|    | 管理経費  | 31,408,518 | 20,808,522 | 12,806,537 | 15,242,443 |            |
|    | 収支    | 9,432,327  | -1,573,730 | -1,842,964 | 0          |            |

6. 指標

| 指標名称     | 単位 | 目標値(22年度) | 19年度  | 20年度  | 21年度 |
|----------|----|-----------|-------|-------|------|
| 相談総数     | 件  | 2,300     | 4,137 | 1,703 |      |
| ケアプラン作成数 | 件  | 690       | 595   | 655   |      |

| 7. 評価項目   |  | 3：協定等の水準を上回っている。<br>2：おおむね協定等の水準どおりである。<br>1：協定等の水準を下回っている。<br>—：評価対象外項目  |  |
|---|--|---|--|
| 評価の観点   | 評価項目   |   |  |
| ①事業の運営<br>平均 [2.0]  | (1) 施設の目的達成 [2]<br>(2) サービス水準 [2]<br>(3) 職員配置 [2]<br>(4) 職員研修 [2]<br>(5) 案内・接遇 [2] | (6) 開館時間等の遵守 [2]<br>(7) 自主事業の成果 [2]<br>(8) 個人情報保護 [2]<br>(9) 緊急時対応マニュアル [2]<br>(10) 警備・防犯体制 [2]   |  |
| ②施設の維持管理<br>平均 [2.0]  | (1) 建物保守・設備機器点検 [2]<br>(2) 備品の管理 [2]<br>(3) 清掃・衛生管理 [2]<br>(4) 施設の修繕 [2]           | (5) 危険箇所等の確認 [2]<br>(6) 管理記録の作成・保存 [2]<br>(7) 業務委託の事前承認 [2]<br>(8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]   |  |
| ③利用者の満足度<br>平均 [2.0]  | (1) 利用者・第三者機関の評価 [2]<br>(2) 苦情・要望への対応と報告 [2]<br>(3) 利用者数の目標達成 [2]                  | (4) 利用しやすい環境整備 [2]<br>(5) 関係団体・地域との関わり [2]  |  |
| ④歳入歳出<br>平均 [2.0]   | (1) 適正な予算執行 [2]<br>(2) 経費削減のための取組み [2]   | (3) 収支計画の達成 [2]<br>(4) 利用料等の徴収・管理 [—]   |  |
| 8. 評価   |  | A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。<br>A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。<br>A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。<br>B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。 |  |
| 評価の観点   | 評価   | 説明  |  |
| ①事業の運営  | A  | ケアプランの作成件数は増えており、良好なサービス提供がなされている。  |  |
| ②施設の維持管理  | A  | 日常の保守点検や清掃は適切になされ、施設は清潔に保たれており、急を要する修繕等もなかった。   |  |
| ③利用者の満足度  | A  | 満足度調査によると、大半の利用者が「満足」「ほぼ満足」と回答しており、おおむね水準を満たしている。   |  |
| ④歳入歳出   | A  | 21年4月の介護報酬の改定を受け、収支計画や人員配置を見直し、収入増へ向けた取組みを行う必要がある。  |  |
| ⑤総合評価   | A  | サービス提供はおおむね適切になされているが、収入増と、経費削減に向けた工夫は継続する必要がある。  |  |
| 9. 課題への対応等  |  |   |  |
| <p>事業運営や、施設の維持管理体制については適切になされている。</p> <p>平成22年度からの地域包括支援センター再編に伴い、相談窓口の一元化のため、在宅介護支援センターは廃止となる予定である。廃止後について、利用者の利便性が高い居宅介護支援事業は、引き続き指定管理者の自主事業として運営を継続する。</p> <p>経費削減、収入増に向けた取組みが積年の課題となっているが、21年4月の介護報酬改定を受けて、人員体制の見直しを行うなど、引き続き自主運営に向けた収支計画の改善が必要である。</p> |  |   |  |